

物的環境に関連するインシデント・アクシデント事例

事例番号845

| | | | |
|--------------|--------|------------|--|
| 発生場所 | 病室 | 精神・意識障害の有無 | リスク |
| 発生場所 (その他) - | | 有 | |
| 関連したもの | ベッド、機器 | 発生内容の分類 | D. スタッフによる物の不適切な使用・利用・選択・設置・確認不足によるリスク |
| | | 転落 | |

発生内容

抑制帯の取り扱い間違いによるベッドからの転落

概要

窒息CPAからのROSC後で、HCU症候群を発症し、一般病棟転棟後もせん妄状態が続いていた。転倒を繰り返しやむをえず夜間は体幹抑制を行っていたが、輸液ポンプのアラームが鳴り訪室するとベッドから転落していた。

要因

抑制帯がベッドに正しく固定されていなかった。使い方に不慣れで正しい固定方法を熟知していなかった。

対策

院内全ての抑制帯入れに、使用方法をラミネートしたものを設置した。

参照